# ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA (S-14)

MISSION
**69**
2016.2

PHOTO: Shunya Arai (yard)
STYLING: Ayaka Endo (TRON)
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

メイクをした顔に違和感があるという人に、"飾らない"という発想。素顔の雰囲気のまま、新たな一面を発見!

ニット ¥2,052、中に着たデニムシャツ ¥3,132(共に原宿シカゴ神宮前店) ノースリーブニットトップ ¥6,600(ジュリアン デイヴィッド | ミルストローム オフィス)

## 今月のミューズが生まれるまで

**篠宮ゆかり**さん
スタジオ勤務
2015. 11. 27 at Tamachi
Photo: UDA

プライベートでセルフポートレートを撮りためているという篠宮さん。「自分の世界をもっている人特有のミステリアスなところに、ぐっと惹かれました。すっぴんでどちらかというと控えめ。だからなのか、漂ってくる色気は、女性らしさとは種類が違って、人としての艶のような色っぽさ。そこを、飾り立てるのではなく、今の気配を生かして引き立てようと」(UDAさん)

スポットを当てたのは、目元。「陰影によってムードを与えられるのが、グラデーションという方法。初めはブラウンで考えていたけれど、もう少しヘルシーに見えるライトブルーに変えました」(UDAさん)

結果、ノンメイクに慣れている篠宮さんに、より軽やかになじんだ。

「リップメイクには、フェミニンさを抑えた赤みをプラス。グレーのネイルで、目元や唇に少しずつ足した色気をあえて差し引き、彼女らしさをキープしました」(UDAさん)

篠宮さんの肌コンディションが良かったため、ベースメイク&チークはなし。代わりに化粧水を手のひらにとってなじませるのを5〜6回繰り返し、丁寧な保湿によって素肌からツヤを引き出した。アイメイクは水色の濃淡2色を使用。まず淡いカラー(3)を、目尻に広げすぎないようにしつつ、アイホールになじませる。次に濃いカラー(4)。目を開けて見える太さのアイライン感覚で、目の幅いっぱいに引く。マスカラは黒を使うが、メイク感が出ないように一度塗り。リップメイクは、温度感を足しながらもポップにならない落ち着いた赤み(1)をプラス。ネイルは、グレー(2)をひと塗り。色というよりもニュアンスを感じさせる方法で取り入れた。

4 3 2 1

**1:** するっとのびて、シアーに発色。インテグレート ボリュームバームリップ #RS767 ¥1,200 ＊編集部調べ＊2/21限定発売(資生堂)
**2:** ツヤ発色のグレージュ。手肌の色がきれいに見える。ネイル カラー R #EX-13 ¥2,500 ＊1/22限定発売(SUQQU)
**3:** 透明感の高いリキッドカラー。アクアレル アイズ #05 ¥3,000 ＊2/18発売(エレガンス コスメティックス)
**4:** 柔らかく描けてシャドーとしても使えるライナー。ドローイング クレヨン #Sブルー ¥2,800(シュウ ウエムラ)

### UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当。本企画ではモデルハントからディレクションまで。緻密な理論に基づく技は日々進化中。流行だけにとらわれない色使いやオリジナルの発想が続々。



**美人化モデル募集中** 『ニッポン美人化計画』では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんの募集を本格スタートしました! 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか? 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza